

小堀訓男教授 略歴・主要業績

略歴

- 一九四三年三月十五日生まれ
- 一九六六年三月
- 一九六八年三月
- 一九七〇年四月～一九七二年三月
- 一九七一年四月～一九九二年三月
- 一九七二年四月
- 一九七五年四月
- 一九八五年四月～一九八六年三月
- 一九九一年四月
- 一九九七年四月～一九九九年三月
- 二〇〇一年四月～二〇〇二年三月
- 二〇〇三年四月～二〇〇九年三月

- 法政大学法学部卒業
- 法政大学大学院社会科学研究所政治学専攻修士課程修了
- 近畿大学法学部非常勤講師
- 東京女学館短期大学非常勤講師
- 駒澤大学法学部講師
- 駒澤大学法学部助教授
- スタンフォード大学フーバー研究所客員研究員
- 駒澤大学法学部教授
- 駒澤大学法学部政治学科主任
- スタンフォード大学フーバー研究所客員研究員
- マス・コミュニケーション研究所長

二〇〇九年四月～二〇一一年三月

駒澤大学法学部長（理事・評議員）

二〇一一年四月

苫小牧駒澤大学学長（理事・評議員）

二〇一三年三月三十一日

駒澤大学を定年退職

二〇一三年五月

駒澤大学名誉教授

主要業績

一 著 書

『東南アジアの宗教とナシヨナリズム』（単著）

しなの出版 一九六九年一二月

『政治学読本』（共著）

高文堂出版社 一九七一年九月

『政治学講義』（共著）

成文堂 一九七二年四月

『国家安全保障の研究』（共著）

高文堂出版社 一九七三年三月

二 主要論文

「EEC諸国の経済外交」(単)

『政治学論集』創刊号 駒澤大学 一九七四年七月

「G5・プラザ戦略の分析」(単)

『法学論集』第四六号 駒澤大学 一九九三年三月

— 政策協調の限界 —

「第二次大戦時における米国の対中政策転換の研究」(一)(単)

—米国の極東戦略と中国大国化政策—

『駒澤大学・法学部研究紀要』第五一号 駒澤大学一九九三年三月

〔第二次大戦時における米国の対中政策転換の研究〕(二)

(単)

『政治学論集』第三七号 駒澤大学一九九三年三月

—米国の中国軍再編と内政に対する政策—

〔第二次大戦時における米国の対中政策転換の研究〕(三)

(単)

—カイロ会談後の米中関係—

『法学論集』第四七号 駒澤大学 一九九三年三月